

投稿論文等の図面・写真・表 作成手引

1. 図形シンボル・原図の大きさ

- (1) 図形シンボルは主として「JIS C 0617 シリーズ」によること。
- (2) 図面・写真・表の大きさは、横幅 75mm以内（片段）を基準とする。特に重要な結果を示す図は、大きめに作成する。図の横幅は最大 165mm以内（両段）に描くこと。

2. 原図の線・記号

図中の直線・曲線・△・○・□・×印などは鮮明に描き、太線と細線に使い分けを明確にすること。

3. 図面・写真・表中の文字

- (1) 図面・写真・表中の文字は原則として英語とすること。
- (2) 図面・写真・表中の文字が、本文中に使用している学術用語・数字・記号・単位と相違しないように注意すること。
- (3) ローマン体（立体文字）とイタリック体（斜体文字）を明確に区別すること（原則として単位記号はローマン体、量記号はイタリック体で書く。例：*arad*, *um/s*）。
- (4) 上付き、下付き数字または記号は明確に書くこと。
- (5) 図面・写真・表中の文字の大きさは7ポイント（10級）を標準とすること（読者が見やすいように配慮すること）。

4. 図面・写真・表の番号と表題

- (1) 図面・写真の番号は Fig.1., Fig.2., Fig.3. …のように通し一連番号とすること（Fig.1.1, Fig.1.2, Fig.1.3 …のようにしない）。
- (2) 表の番号は Table.1., Table.2., Table.3. …のように通し一連番号とすること（Table.1.1, Table.1.2, Table.1.3 …のようにしない）。
- (3) 図面・写真の表題は英語で図面・写真の下に記載すること。標題の先頭の文字は大文字とし、それ以降は小文字で記載する。また、副題がある場合は(a), (b) …とし、それぞれの図面・写真の下に記載すること（表題の下にまとめて記載しない）。「Fig. ○.」「(a)」だけで説明のないものは不可。
- (4) 表の表題は英語で表の上に記載すること。標題の先頭の文字は大文字とし、それ以降は小文字で記載する。また、副題がある場合は(a), (b) …とし、それぞれの表の上に記載すること（表題の下にまとめて記載しない）。「Table. ○.」「(a)」だけで説明のないものは不可。

5. その他

- (1) 図面・写真・表は EPS, TIFF, JPEG などのデジタル画像に加工し、写真は 1,024×768 ピクセル以上の解像度を有すること。
- (2) 図面・写真・表は著者からカラーのデータが提出されればカラーで、モノクロのデータが提出されればモノクロで電子ジャーナルに掲載される。カラーであっても追加料金は必要ない（共通英文論文誌〔冊子体〕でカラー印刷を希望する場合はカラー印刷代を請求する場合がある）。ただし、カラー、モノクロいずれの場合も、A4 用紙にモノクロ印刷した場合に鮮明に印刷されるように配慮して大きさや配色、コントラストを調整すること。特に図面・写真・表中の文字はモノクロ印刷した時の効果を考え、背景が黒い場合は白地で書くなど考慮すること。